

B 147 明治期衣服の研究—オニ報—学校制服の考察(II)  
昭和女大家政 村井不二子 ○安蔵裕子

目的 オニ報において報告の明治初期製作の小学校制服—ジャケット2着とズボン1着  
については、横濱で縫製されたと伝えられている。この資料を手がかりとして、当時の洋  
服裁縫の実態にふれ、その構成を明確にするために復元を試みた。

方法 形態、材料、付属品、裁断、縫製方法及び技術等について実物調査を行ない、さ  
らに明治期と現在の学齢期の多量の体型についても実際に着用させ考察した。

結果 資料3点は、揃いの紺木綿でつくられているが、高度な洋裁の縫製方法が確認さ  
れた。ジャケット2点は、形態、材料、縫製とも同様であるが、寸法に多少の差がみられ  
た。

- ・材料について：ジャケット…紺木綿(表地)、白綾織起毛綿ネル(裏地)、白平織木綿、ボタン。  
ズボン…紺木綿(表地)、白平織木綿(裏地)、ボタン。
- ・縫製について：とくに、衿、パンツ、ポケット、明き等の縫製技術をはじめ、くせとり  
やいせこみによる全体的シルエットからも精緻な仕立てとなっている。
- ・型紙について：当時の紳士フロックコートと同様の製法であり、ズボンの裾はモーニン  
グカットとなっている。
- ・裁断について：並中の反物で想定すると、用尺はジャケット1着分が約3.5m、ズボンは  
約3mとなる。